

# 川崎医療生協

## 4 月号



### 川崎医療生協の現状

組合員 44,076人  
出資金 1,551,669,500円  
川崎医療生協では一世帯5万円以上の出資金をめざしています。

発行所 川崎医療生活協同組合 〒210-0804川崎市川崎区藤崎4-21-2 発行責任者 木下 隆成  
定価1部10円千60円(購読代金は出資金に含まれています) TEL.044(270)5881

### 今月号の紙面

- ◆職員活動交流集会 **2**
- ◆2018年度 生協活動総括(案) **4**
- ◆2025年の将来像と 2019年度方針(案) **5**
- ◆ワールド ヒストリーを歩く **6**
- ◆読者の広場・パズル **7**
- ◆伝えたい思い **8**



# 子どもと親が楽しく踊る キッズ・ダンススクール

## 毎月開催



齊木医師の指導で音楽によって親子いりまじり思いっきり体を動かす

## ダンスだけじゃないもぐもぐタイムも

川崎医療生協では、「子どもたちと一緒に健康と文化を楽しく学ぼう」と、昨年10月から毎月1回、無料のキッズ・ダンススクールを開いています。場所は、協同ふじさきクリニック内などで、毎回10人ほどの子どもとその親が一緒に踊り、心地よい汗を流しています。

### ダンスのできる 医師がいる!

キッズ・ダンススクールを開こうというアイデアは、職員の食事会の中から生まれました。「子どもたちと一緒に何かしたい」、「健康講座はよくやるけど、健康だけでなく文化も大事だ!」という意見に加えて、「齊木好美先生がダンスができるから指導してもらえば」という話が出て、齊木医師に相談した結果ダンススクールを始めることになりました。

### 笑顔で、真剣に、楽しみながら

スクールは、毎月第4土曜日の15時から1時間ほど。参加している子どもは4歳から小学校6年生まで幅広い年齢層で、みんな一緒に踊ります。真剣に先生の踊りをまねる子もいれば、お母さんと一緒に笑



ダンスのあとはもぐもぐタイム

ながら踊る子、踊りに関係なく走り回る子、いろいろな子がそれぞれの思いでこの場所を楽しんでいます。

「企画が始まった当初は子どもたちだけで踊っていましたが、いつごろからか自然と親も一緒に踊るようになりました」と話すのは、スクールのサポートスタッフで事務の木下博志さん。

「絶対親が踊らなきゃいけないわけではないので安心してください」と同じくサポートスタッフで保育士の藤田みちさんは話します。

参加している子どもたちの母親で子どもと一緒に踊る岡麗さんは、「ダンスの次の日はちょっと体がきつかったけど、月曜日から体の調子が良くてダンスの効果かなと思います」と言います。



大きなポーズで

こうした参加者の反応に齊木医師は「体動かすのはいいよね! 私も子どもたちと一緒に踊るのが楽しい!」と、笑顔で話します。

### 将来はお年寄りも!

「子どもたちが気軽に来られる場所に」というのがスクールの方針。厳しく指導するスクールもあるが、ここでは技術よりもみんなであらゆることを目的として踊ることを目的としています。スクールにはいつからでも参加できるので、毎回新しい人がスクールに来ています。

踊った後にはお菓子を食べながらの「もぐもぐタイム」もあります。12月には協同病院副院長の野本朋宏医師からプレゼントされたクリスマスケーキをみんなで食べました。

将来的には、ダンスを通じておじいちゃんおばあちゃんとも交流できるように、「いつかどこかのステージに立てればいいかなあ」とスタッフは考えています。

### 青い空

1月18・19の両日「70周年記念日本のうたごえ祭典」に一顧客として参加しました。18日は知人が招待状をくださいました。会場は東京文化会館大ホールで、演目の一つひとつがすばらしく感動いっぱい。19日は都合が悪くなったという友人からチケットを入手しました。

会場は、中原区の川崎等々力アリーナ▼庄巻だったのは前名護市市長の稲嶺進さんの指揮による「沖繩を返せ」の大合唱!そして反核平和マラソンのタスキ一本ノボリ旗を掲げてのマラソン走者です。東京の芝公園から走り続けアリーナの舞台を1周2周してもなお余裕の笑顔です。本当に平和であればこそその光景でした。そして私の大好きな横井久美子さんの登場です。きたがわてつさん橋本のぶよさんらが一緒に歌い交わしました▼等々力アリーナは昨秋、イスラエルの武器見本市の開かれたところで、あの時は不気味さと怒りでいっぱいでしたが、今回は心が充たされた大満足の2日間でした。うたごえは生きる力。うたごえは闘いと共に。花には太陽を子どもらには平和を!

編集委員 谷田部 洋子

# 健康・医療

## Health Promoting Hospital

### 第42回川崎医療生協活動交流集会開く

3月22日、川崎区富士見にあるサンプランかわさきで、「第42回川崎医療生活協同組合活動交流集会（実行委員長 野本朋宏川崎協同病院副院長）」を開催、職員を中心に388人が集まり、生協活動の発表や学習を行いました。

今年のテーマは「HPH」「地域医療」さあ、はじめよう！地域密着のヘルスプロモーション（Health Promoting Hospital）って何だ？

同組合埼玉協同病院副院長の福庭勲医師が、「健康づくりとHPH（医療生協）の福庭実践から」というテーマで講演をされました。HPHとはWHO（世界保健機構）が1986年のオタワ憲章で提唱した、新しい健康観に基づく21世紀の健康戦略で、「患者・家族」「地域住民」「職員」の健康づくり活動を支援する医療機関の取り組みのことです。「病院や診療所単位のHPHに加盟して取り組み、世界の人たちと健康づくり活動を共有していくもの」と、福庭医師は話しました。



福庭副院長が埼玉のとりにくみを紹介

最初に、医療生協さいたま生活協（Health Promoting Hospital）って何だ？

講演後は10カ所の分科会に分かれ川崎医療生協の取り組みを共有し、58あった発表の中から実行委員長賞に、協同ふじさきクリニックの竹内きのえ看護師が発表した「認知症カフェ」が選ばれました。

### 整形外科外来、 協同ふじさきクリニックから 協同病院に より地域のニーズに 応えるため

4月から

川崎医療生協（桑島政臣理事長）では、これまで協同ふじさきクリニック内に設けていた整形外科の外来を4月から川崎協同病院に移して診療を行います。担当する医師はこれまで通り、戸口淳、松井秀和、原弘明、堀内静夫、高橋健一の常勤医師をはじめ7人の

今回の移転は、より地域のニーズに対応するためです。川崎協同病院には、高度急性期病院での治療後も、引き続き入院治療が必要であったり、在宅や介護施設などで具合が悪くなった患者さんを受け入れることが求められています。川崎市内の医療機関からも、整形外科疾患に限らずこうした患者さんをもっと受け入れて欲しいという声が出ています。

これまでこの要望に込めてきましたが、整形外科の入院と外来を川崎協同病院に統合することで、医師の働く環境の効率化をはか

り、よりいっそう他医療機関や協同ふじさきクリニックの患者さんの受け入れ条件を整えることとなります。

今回の移転について、川崎協同病院の星野俊平事務次長は、「病院を利用する患者さんにとっては、外来通院、入院治療、救急外来への受診、リハビリテーション治療との連携向上、CTやMRI等の精密検査等の場所がひとつになることでかかちやすくなるという利点があります」と、話しています。

なお、協同ふじさきクリニックの内科と皮膚科は、これまで通り診療を行います。

**知ってる？ 無料低額診療事業**

無料低額診療事業とは医療が必要であるにもかかわらず、経済的な理由により、医療費の支払いが困難な人に対し、医療費の減額や免除を行う制度です。

川崎医療生協では現在、川崎協同病院、協同ふじさきクリニック、生協歯科クリニック、京町診療所、介護老人保健施設・樹の丘の5事業所が無料低額診療事業を行っています。

※利用には所定の申請書による手続きが必要ですが、まずご相談ください。

問い合わせ先  
☎044-266-7532  
組織部まで

**薬剤師さん大募集**  
＜常勤・パート＞  
新卒・既卒を問いません。病院研修および卒後研修も充実しています。お知り合いの方の紹介も歓迎いたします。奨学生も募集中！

**川崎薬局** ☎299-4780 川崎協同病院横  
**大師薬局** ☎266-5759 大師診療所前  
**川崎コスモス薬局** ☎355-6395 京町診療所となり

**そよかぜ薬局** ☎533-1223 川崎セントメント診療所前  
**くじら薬局** ☎820-0331 久地診療所の近くくじらビル  
**川崎すみれ薬局** ☎287-7510

介護用品・レンタル  
**2F かりん** ☎287-7390  
**1F 川崎すみれ薬局** ☎287-7510

募集・問い合わせ先  
横浜市神奈川区鶴屋町3-35-1 第2米林ビル6F  
一般社団法人 **メディホープかながわ**  
担当 人事担当まで  
電話 045(624)8704  
FAX 045(624)8706  
Email kanagawa@medi-hope.or.jp  
URL http://www.medi-hope.or.jp

組合員さん、はたらくみんなの薬局 **メディホープかながわ**

**シリーズ やさしい「医学の歴史」⑧**  
明治から大正の医師たち⑨  
**呉秀三**  
1865-1932 日本の精神医療の草分け  
川崎医療生協 桑島政臣 理事長・医師



精神を病んだ人たちは、世界の歴史をみても、長らく病人としてとらえられることはありませんでした。中世のヨーロッパでは、これらの人々は、修道院や刑務所に収容されるか、路上生活者・犯罪者として社会から排除されていました。しかし、フランスの内科医フィリップ・ピネル（1745年-1826年）は、パリの精神病施設に鎖でつながれた患者の鉄鎖はずし、人間として生きる権利、治療を受ける権利があると主張しました。

では、日本における精神疾患の人たちの扱いはどうだったのでしょうか？ 昨年公開された「夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年」（今井友樹監督）映画には、当時の精神障害者たちは実にこの病を受けたるの不幸の他に、この邦に生まれたるの不幸を重なるものというべし」

設が不足し、国は1900年に「精神病患者監護法」を制定し、多くの患者が自宅に幽閉されていました。東京大学医学部精神科教授で、

が、事実を物語っています。呉は日本の精神医療の草分けとも言われる医師です。呉の発した有名な言葉があります。「わが邦十何万の患者の多くが自宅牢のような部屋に「私宅監置」として閉じこめられている映像が紹介されています。当時「精神病患者を収容する施設」が廃止されました。

呉は広島藩医である呉黄石の三男として江戸の青山に生まれました。幼少期は恵まれた境遇で育ち、医師になることを目指しましたが、16歳の時に両親を亡くし、以後は経済的な苦勞をしながら医師になりました。卒業後に精神医学を学び、ウイン、ハイデルベルグ、パリへ留学し、当時最先端の精神医学を日本に導入しました。わが国の精神医学に多大な貢献をし1932年に67歳で亡くなりました。

記録映画「夜明け前」  
フィリップ・ピネル 1745-1826  
今井友樹監督作品  
フロンティア 村下景子  
受けたる不幸の外に、この邦に生まれたるの不幸を重なるものというべし。そして、我が国下の悲劇は是れをばからず。 呉秀三

くらし・社会

# 患者の抱える問題に気づこう

## 模擬患者の会が大師診療所で

毎年行われている「模擬患者の会」が、2月13日に大師診療所で開かれました。この会は、川崎医療生協の職員と組合員で構成され、職員を相手に組合員が患者役となり、日常の診療場面などをシナリオに沿って再現し、職員のコミュニケーションを向上させる研修の一環として活用されています。

通常は毎月1回、協同病院の2年目看護師や研修医を対象に行っていますが、年に1度は川崎医療生協内の事業所を回っています。今回の会では、「短期保険証を持って受診した患者」というシナリオで、職員の役を事務の栗山弘さんが行い、模擬患者の対応に

解していなければ伝わったことになりません。そのためにまず何より重要なのは「わかりやすさ」です。「わかる(理解される)ならいいではないか」と思うのは傲慢です。読み手が何度読み直したり想像したりしようやく理解されるような文章は、ときに誤解を招きます。また、最後まで読んでももらえないかもしれせん。役所の広報や雑誌の文書をはじめ新聞や雑誌の記事でも、わかりにくくて読まれることすらない文章は多々あります。

「この法律は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことがで



組合員が患者の役になって (大師診療所で)

あたりました。職員と患者のやりとりを見ていて、『検査を受けたくない!』と言った時の患者の気持ちを感じ、患者が抱える問題に気づくアンテナをもっともっと高く持たなければいけない』と感じました。また、組合員からは、「まずは患者の思いを認めてあげよう」というアドバイスがありました。他の職員からも「アイデアで自分だったらどうしたか

新連載・コラム



## 伝えるための文章技術

### ～わかりやすさとはなにか

#### 第1回 ひとりよがりな禁物

文章は、たいてい誰かのために書かれています。伝えるためのものですから正しく伝わらないと意味がありません。「私は伝えたいつもりだ」と、思っている相手は理解していません。

「この法律は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことがで



きるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。」

実はこれは、介護福祉法の第一条です。この法律の目的が書かれています。232文字もあって一つの文章です。一読して頭に入らなうか。主語・述語、修飾・被修飾関係の複雑さ

「わかる(理解される)ならいいではないか」と思うのは傲慢です。読み手が何度読み直したり想像したりしようやく理解されるような文章は、ときに誤解を招きます。また、最後まで読んでももらえないかもしれせん。役所の広報や雑誌の文書をはじめ新聞や雑誌の記事でも、わかりにくくて読まれることすらない文章は多々あります。

「この法律は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことがで

わかる(理解される)ならいいではないか」と思うのは傲慢です。読み手が何度読み直したり想像したりしようやく理解されるような文章は、ときに誤解を招きます。また、最後まで読んでももらえないかもしれせん。役所の広報や雑誌の文書をはじめ新聞や雑誌の記事でも、わかりにくくて読まれることすらない文章は多々あります。

## 署名のご協力ありがとうございました

2月に本紙に返信用の封筒を付けて訴えた署名。3月20日現在、1321通もの返信がありました。ご協力ありがとうございました。



署名項目	筆数
75歳以上医療費2倍化反対署名	3720
STOP HENOKO 辺野古埋め立て反対署名	2879
再生可能エネルギー条例を川崎に	2864

法人社保委員会

## からだにやさしい料理 第5回

### 腸に“超いい”食事編



#### 《超簡単 繊維たっぷり たけのご飯》

川崎協同病院栄養科 遠藤 陽子

#### 【材料 (5~6人分)】

- ・白米3合・押し麦 大さじ2
- ・水煮たけのご300g・しめじ50g・人参50g・油揚げ1枚・三つ葉
- ・煮汁 (・だし汁 300cc強・醤油大さじ2・酒 大さじ2・砂糖 小さじ1)
- 1人分：エネルギー330kcal 塩分0.4g



#### 【作り方】

- ①白米は洗ってザルにあげておく
- ②たけのご・人参・油揚げは短冊切り、しめじは食べやすい大きさに切る。三つ葉はざく切りにする。
- ③鍋にたけのごと油揚げ、人参、しめじを入れ、煮汁を入れて5~6分煮る
- ④③の具材と煮汁を分け、炊飯器に白米と煮汁を入れる。炊飯器の目盛りに足りなければその分の水を追加する。(いつもよりやや多めの水加減にする)
- ⑤最後に上にのせるように具を入れ、炊飯する。
- ⑥炊き上がったら蒸らして混ぜ、器に盛り付け、三つ葉を散らす。

#### ♡一口メモ

旬のたけのこに押し麦をプラスした食物繊維豊富な炊き込みご飯です。快腸間違いなし!

## 第70回 通常総代会のお知らせ

2019年3月 川崎医療生活協同組合理事会  
定款第54条に基づき、以下の日程、議題で通常総代会を開催します。

日時	2019年6月22日(土) 午後1時30分~午後5時
場所	サンビアンかわさき(川崎市立労働会館)大ホール 川崎市川崎区富士見2-5-2

- ◎議案
- 第1号議案 2018年度活動報告・事業報告及び決算関係書類等承認の件(注: 2018決算処分案、監査報告を含む)
  - 第2号議案 2019年度活動方針・事業計画及び予算決定の件
  - 第3号議案 役員報酬決定の件
  - 第4号議案 役員選任の件
  - 第5号議案 議案決議効力発生に伴う議案

支部総会  
討議資料

2018年度  
生協活動総括(案)

**理念**  
「健康をつくる。  
平和をつくる。  
いのち輝く社会  
をつくる。」

● 地域まるごと健康づくりにすすめます。  
● 地域住民と医療や福祉の専門家が協同します。  
● 多くのひとびとの参加で、地域に協同の「わ」をひろげます。

2020年の将来像

川崎医療生協は医療・介護・福祉の要として、地域から信頼される存在になっている。川崎医療生協はすべての世代を対象に「地域まるごと健康づくり」の推進役となっている。

川崎医療生協は多くの人たちが地域の要求を持ちよる組織になっている。川崎医療生協は組合員がより自主的・主体的に運動を進める組織になっている。

2018年度 テーマ

人とひとをつなぐ、  
地域と医療生協をつなぐ、  
だれひとり置き去りにしない  
社会の実現に向けて行動する



川崎医療生協は2018年度、理念と将来像をもとに医療生協の魅力を組合員だけでなく、地域の人びとの中にひろげてきた。この結果地域との新しいつながりも生まれ、2018年度のテーマに沿った活動が行われた。

第1章  
医療生協の  
「わ」を大きく

新しい人を誘おう

今まで医療生協の活動に参加できなかった人にも参加できる企画を増やし、顔の見える関係づくりをすすめた。  
小田地域では「うたごえ喫茶」や「映画鑑賞会」を行い新しい組合員や地域の人とつながることができた。

協同地域や長尾堰支部では久地診療所の空きスペースを活用し「健康麻雀」を開始、組合員の仲間づくりが進んでいる。  
小田地区ではふれあいルームで「おしゃべりカフェ」をスタートさせ、患者を中心とした地域の交流を始めた。

幸中原地区では2月に恒例の「早春のつどい」を開き、秋に行われた「健康まつり」に参加した他団体に参加を呼びかけ交流を深めた。  
配付者や新加入者との交流

各地で配付者や新しく加入した組合員へのアプローチを積極的に進め、配付者交流会は11支部で開催することができた。

運動)。78の提案の内、14項目が実現や前進につながった。

2015年から進めている「つながりマップ」は、地域と医療生協を結ぶ大きなツールです。今年の進展はあまりありませんでした。来年度に向けて有効的に利用できる仕組みを研究する。

支部の宣伝活動

地域に医療生協の支部の活動を紹介するパンフの作成を呼びかけた。パンフを作成した支部は京町・大島・桜本支部です。支部でつくることが困難なところでは地域でパンフを作成した(小田・協同地区)。地区のパンフをもって訪問行動をした組合員からは、「組合員訪問時の話のきっかけになる」と喜ばれている。

活動を広げていくツール  
班会などで体操を指導する職員がいなくても、体操ができるようなDVDの作成を進めている。

以前から生け花や絵手紙、折り紙、手芸などの活動をしてきたことを生かし、昨年の強化月間では教室を開催した。新たにペーパークラフトやバルーンアートも加えた。

今後、写真やパソコン、健康麻雀、卓球、スポーツ吹き矢などの教室も検討している。

第2章  
健康づくり  
フレイル予防

フレイルとは「虚弱」という意味で健康な状態と介護が必要な状態の間の状況のことを言う。フレイル予防は、介護が必要な状態にならないように、「運動」、「食事」、「社会参加」の3つが重要だとし、その普及を進めている。

川崎市に対して、医療・介護制度、市内施設や交通関連の改善提案を行った(1班1支部1職場1要求

健康づくり委員会主催で、フレイル予防をテーマに学習会を3回行った。医療生協新聞で2018年8月号と2019年1月号でフレイル予防の啓発を行った。

生協歯科クリニックの医師が作成した資料を活用し、班会や配付者交流会などで学習を進めた。

健康チャレンジ

自分で生活習慣の目標を決めてチャレンジする健康チャレンジ。健康チャレンジ達成者は374人で昨年を上回った。川崎医療生協組合員以外の健康チャレンジ達成者は9人にとどまり健康チャレンジが市民に知られていない状況である。

毎年新しい項目の一つは入る人がもつとやってみたくな工夫が必要。

6〜7月、健康診断受診と加入・増資を呼びかける月間に初めてとりくみ、昨年を上回る健診数、出資金ふやし1割増を実現する契機となった。

セトルメント診療所の地域では、事業所と組合員が協力して、健診お誘い電話作戦を実施し健診受診者につながった。

第3章  
職員と組合員の  
共同を旺盛に

健康診断スタート&事業所  
パワーアップ月間

組合員が医療生協新聞のなかに健診お誘いカードを折込むなど、組合員も事業に参加する取り組みが行われた。

2018年度から秋の強化月間の名称を、「知ってもらうキャンペーン」と変更した。医療生協の魅力をもっと多くの人に知らせ、医療生協の担い手を増やそうと、10〜11月の2ヵ月間取り組んだ。

加入・増資は年間目標の8割を目指したが、到達することはできなかった。しかし増資に参加する人は増えて、昨年比13.1%という結果を出した。

職員と組合員がスクラムを

京町診療所や久地診療所では、支部が企画した訪問行動に職員が参加。京町診療所の職員が医療生協新聞の配付者になるなど組合員との共同が生まれた。

協同病院の職員でつくる生協委員会が病院の待合室で班会メニューを発表。

桜本支部の運営委員会には、協同病院の医局職員が毎月参加して、お互いの情報を共有。

2年目の職員研修で、高津宮前地域を組合員と職員が一緒に訪問行動し、新聞が配付されていなかった地域で配付者が見つかるなどの成果を生んだ。

第4章  
医療生協「が」  
ではなく、  
医療生協「も」

あさお診療所では、機会があるときに組合員が食事を作って会を催し、職員と組合員のきつなをつくらせている。

組合員が医療生協新聞のなかに健診お誘いカードを折込むなど、組合員も事業に参加する取り組みが行われた。

生協と共同して学習会を開催した。

協同地域のいこいの家で医療生協の健康チェックが評判となり、数カ所から依頼があり、ふじさきいこいの家では毎月健康チェックを開催している。

第5章  
「いのち」が  
一番の行動を

2019年2月に全市で取り組んだ、医療生協新聞に返信用封筒をつけた署名呼びかけ行動は、1321通の封筒が返ってきた。

今年度取り組んだ主な署名は「安倍 9条改憲NO!」12217筆。「ヒバクシャ国際署名」10946筆。

映画「明日へ」戦争は罪悪である」は市内4会場で上映し、市内の9条の会や他団体と一緒に取組み、1715人の観客を集めた。

原水禁世界大会ヒロシマに職員組合員合わせて16人を派遣するほか、ピキニテ1にも職員、組合員併せて4人を代表で送った。

第6章  
全国の仲間  
たちと

2018年度は全国の集会所が神奈川や熱海で行われ、川崎医療生協も主催として力を発揮し全国の組合員や職員との交流を深めた。

2018年9月9〜10日には「共同組織活動交流集会」がパシフィコ横浜で開催され、川崎医療生協から実人数197人、延べ人数253人が参加した。

11月25、26日には熱海で「高齢者大会」が開かれ、川崎医療生協から32人が参加した。

健康の危険因子を捉えた医療・介護・社会変革の実践を強めようと、「健康の社会的決定要因(SDH)」の学習にとりくんだ。また先進国カナダへの視察研修に職員を派遣した。

第7章  
目標を持って  
行動を

今年度の加入・増資目標は、加入2500人、増資1億2千万円としたが、2月末で加入は1,554人、増資は1億45万円という結果で、昨年よりは加入・増資とも1割増だが、目標を達成することはできなかった。

各支部・事業所が自分たちで立てた目標をやり切る姿勢が求められる。

中長期の展望を手にするために「借入れに頼らず、必要資金を事業で生み出す経営」にこだわった。2月末までの累計経常利益は1,040万円の赤字(予算差1億3,764万円、前年差1億2,596万円)で、運転資金の新規借

入れを行うことなく推移している。

第8章  
2018年度  
事業活動

中長期の展望を手にするために「借入れに頼らず、必要資金を事業で生み出す経営」にこだわった。2月末までの累計経常利益は1,040万円の赤字(予算差1億3,764万円、前年差1億2,596万円)で、運転資金の新規借

入れを行うことなく推移している。



# 川崎医療生協 2025年の将来像と 2019年度方針(案)

2016年度から、私たちの将来像を作成し取り組んできました。その取り組みを話し、今後の活動を力強く進めるために、改めて「私たちの理念」「私たちの使命」「ビジョン」「2025年の将来像(ビジョン)」「私たちが求める社会」を提起します。第2章では2025年の将来像を踏まえた、2019年度の方針を提起します。

**理念**  
「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。」

**使命**  
※私たちが、社会に果たすべき役割です。

地域に健康づくりを広げます。誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します。多様な人々が共生できる社会づくりを推進します。無差別・平等の医療と福祉の実現をめざすと同時に、安全・安心で質の高いサービスを提供します。核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します。

**2025年の将来像**  
※私たちが2025年には「こうありたい」という姿です。  
私たちは、医療・介護・福祉の要として、地域から信頼される存在になっている。私たちは、「健康の社会的決定要因(SDH)」の視点を持ち、すべての世代を対象とする「地域まるごと健康づくり」を推進している。私たちは、多くの人が地域の要求を持ちよる組織になっている。

## 川崎医療生協がめざす社会の姿

子どもとお母さんが安心して住める。元気な高齢者の活動の場が広がっている。認知症高齢者や要介護者が暮らしやすい。障害児・者が差別なく安心して生活できる。近所つきあいが活発で、福祉の視点を中心に据えたまちづくりが進んでいる。医療・介護・福祉が地域の団体・個人と連携・協力しながらまちづくりが進んでいる。デイサービス・ワーク(働きがいある人間らしい労働)が実現されている。

## 第1章 2025年の将来像達成のために

**信頼を生むプランと目標**  
3つの連携が鍵  
だれひとり取り残さず、地域まるごと健康づくりを進めるために、「医療生協

の事業所」「医療生協組合員組織」「地域(住民・団体・企業)」「この3つのつながりを強化します。要求にあった組織づくりを進める  
私たちは、2030年に向けて「持続可能な開発目標(SDGs)」を地域と一緒に推進している。

**40支部を目指す**  
「1中学校区に1支部、もしくは1小学校区に1支部、1支部の組合員数1,000人以上を目指します。すべての世代を対象に健康の社会的決定要因(SDH)(注1)や、持続可能な開発目標(SDGs)(注2)の視点に立って、「地域まるごと健康づくり」をすすめます。広い世代の人たちが様々な要求を持ちよる組織づくりのきっかけとして、班活動やサークル活動を積極的に展開します。班・サークルづくり

**自主的・主体的組織運営**  
支部運営委員会は、班の声をとりながらマップ、くらしのアンケートを土台に、「地域要求の掘り起こし」と「法人方針に基づいた解決の道筋」を議論することに重点を置きます。理事は、自主的な支部活動を実現するために、必要な支援を行います。

**地域に開かれた居場所づくり**  
居場所づくりは、組合員の活動をより地域に根差したものにす大きな課題です。居場所を、集い、笑い、元気になる場所にしていきましょう。また、くらしの相談にも対応できる体制づくりを進めましょう。

**地域に開かれた居場所づくり**  
「1中学校区に1支部、もしくは1小学校区に1支部、1支部の組合員数1,000人以上を目指します。すべての世代を対象に健康の社会的決定要因(SDH)(注1)や、持続可能な開発目標(SDGs)(注2)の視点に立って、「地域まるごと健康づくり」をすすめます。広い世代の人たちが様々な要求を持ちよる組織づくりのきっかけとして、班活動やサークル活動を積極的に展開します。班・サークルづくり

**2019年度のテーマ**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**多様な健康づくり活動**  
班会やサークル活動の機会も活用し、健康チェック・健康習慣を普及します。フレイル予防の「運動・食事・社会参加」を組合員だけでなく地域で促進する機会をつくりたい。

**世界動きと共に**  
WHOの策定した「オタワ憲章(注3)」や「健康の社会的決定要因(SDH)」と国連が定めた「持続可能な社会の実現に向けた17の目標(SDGs)(注2)」について、支部や事業所の実践と結びつけて学習し事業と運動に活かします。

**2019年度活動方針・事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度のテーマ**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**平和、改憲阻止、核廃絶**  
戦争ができる国づくりを許しません。改憲NOの運動を中心に行います。沖縄新基地建設、事故多発の戦略ヘリオスプレイの全国配備、横須賀基地への原子力艦船入港・母港化等の、基地強化の撤回を求める運動へ結集します。

**大規模災害支援**  
「最も困難なところへ駆けつける」「被災地・被災者を忘れない」との姿勢を貫きます。福島の子どもや医療従事者への支援を継続します。私たちが暮らす地域での、新たな災害に備えます。事業継続計画(BCCP)を整備します。

**頼りになる医療生協づくり**  
2025年ビジョンの5万人組合員実現に向け、組合員・出資金の純増をめざします。純増を実現するために、新規加入2,500人、増資1億2千万円を目標とします。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

**2019年度事業計画**  
「でかける、つながる、安心を結ぶ」  
医療生協の総合力(地域に組合員がいる。健康づくりに医療・介護・福祉の専門家がいる)と連携で「私と地域の課題」を解決し、安心のネットワークをつくりたい。

(注1) 健康の社会的決定要因 SDHに最も影響を及ぼすものは「格差と貧困」であることがはっきりしました。貧困状態にあると、「糖尿病や心臓の病気、ガンやうつ病」のリスクが高い。子どもにも影響があり、のちに治療が必要な病気を抱えやすいことが解明されています。  
(注2) 持続可能な社会の実現に向けた17の目標  
2015年に国連で採択された、2030年までの国際目標です。基本理念は、「誰一人取り残さない」こと。国際社会が「貧困を撲滅し持続可能な社会を実現する」指針であり、そのための17の目標「SDGs(エスディーゼス)」を設定しています。  
(注3) オタワ憲章  
1986年に世界保健機関(WHO)が策定した、全ての人の健康のための憲章です。健康とは「身体的にも社会的にも問題がないこと」であり、平和、住居、教育、収入、安定した環境、持続可能な資源、社会的公正と公平等が「健康の条件」としました。1998年には、これらの条件を「健康の社会的決定要因(SDH)」として整理しています。

3面～5面関連

2019年度支部総会の日程表

Table with columns: 支部名, 日付, 曜, 時間, 場所. Lists branch meeting dates and locations for 2019.

総代会議案説明会の開催

2019年6月に開催する第70回通常総代会の議案説明会を下記の日程で行います。ぜひご参加ください。

総代選挙の公示

Table with columns: 選挙区, 定数, 選挙区, 定数. Shows election results for various districts.

へみんなどで楽しい班会 3人以上集まれば、班がつくれます。近くの町内会事務所や組合員のお宅、病院・診療所の組合員ルームなどを利用して、楽しい班会をひらきましょう。

班会日誌 2月度 31支部 119班 772人. Large table listing activities for various branches and classes.

文化・地域

ワイルドヒストリーを歩く ④ 中国の旅、知られざる平頂山事件について

1998年8月、中国遼寧省撫順を訪ねた。省都瀋陽市は北京から北へ特快で11時間。列車の両側は行けどもどこまでも続くコウリヤン畑。瀋陽に一泊し東の撫順に向かった。バスで1時間ほどで着いた。



奇跡的に生き残った楊宝山さん 平頂山殉難同胞遺骨館

ひたすら歩いた。12月ごろ叔父さんの家にたどり着いた。そこもくらしは貧しかったので地主のやしきで豚飼いの仕事をしていた。夜は寒くて犬を抱いて耐えた。事件から64年後、楊さんたち生存者3人が1996年、日本政府を相手取り損害賠償を求め平頂山事件訴訟を提起。弁護団はまったく知られていなかったこの事件の証拠集めに苦労した。

ひたすら歩いた。12月ごろ叔父さんの家にたどり着いた。そこもくらしは貧しかったので地主のやしきで豚飼いの仕事をしていた。夜は寒くて犬を抱いて耐えた。事件から64年後、楊さんたち生存者3人が1996年、日本政府を相手取り損害賠償を求め平頂山事件訴訟を提起。弁護団はまったく知られていなかったこの事件の証拠集めに苦労した。

# 読者の広場



## 原発で思いだす

中原区 相川政子

先月、福島原発事故で避難した方たちが裁判で勝利したニュースを聞きながら思い出したこと。かなり前にテレビで他の国の女子高校生数人が国連で原発(チェルノブイリ?)のことで発言していました。「なおせないものやもどおりにできないものを作らないでください」。力強い言葉が胸にストンと入り込み思わず「その通り!」とつぶやいていました。

## ヤレヤレ...

多摩区 小林光子

いま30日分の吸入器を使っています。1日1回同じ時刻頃に口にくわえて一気に吸うアレです。少し時間をおいてウガイをするのですが、腰が変

## 高血圧の原因

おたふく 130



# みんなだ川柳

安倍さんよあつさり認める不正など  
脳下して毎月楽しくクロスワード  
適齢期嫁に行つたが何故家に  
オリンピック無料のマラソン観る予定  
逃げる月師走のように忙しい  
前頭葉フル回転の一句なり  
ゆき積り雪掻きすがた助けあう  
宝くじよ報酬額に負けてるぞ  
老いたれば経験語る義務があり  
淡い桜ブルーシートが台無しに

みな様からのオリジナル川柳をおまちしています



## 編集部よりひとこと

三住さん、戻ってきた娘への気持ちでしようか。でも戻ってきて少しうれしい?

- 川崎区 山口良春 (79)
- 川崎区 鳥飼和平 (83)
- 川崎区 三住勝清 (80)
- 川崎区 小林郁夫 (65)
- 川崎区 藤本直美 (43)
- 川崎区 伊藤トキ子 (83)
- 中原区 須山孝 (79)
- 多摩区 菅野節子 (87)
- 麻生区 酒井巖 (88)
- 川崎区 編集君

形して天井向いてガラガラがうまうまできません。  
洗面台のフチにつかまって体をそらせてがんばってやっています。ヤレヤレ。

## 防止は必要だが

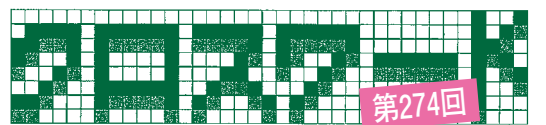
中原区 加藤賢司 (70)

世は情報化時代である。スマホで現在地やわからない言葉や、歴史などあらゆることを知ることができる。先日、わが家の屋根の工事等の代金が高額になったので分割

## 防止は必要だが

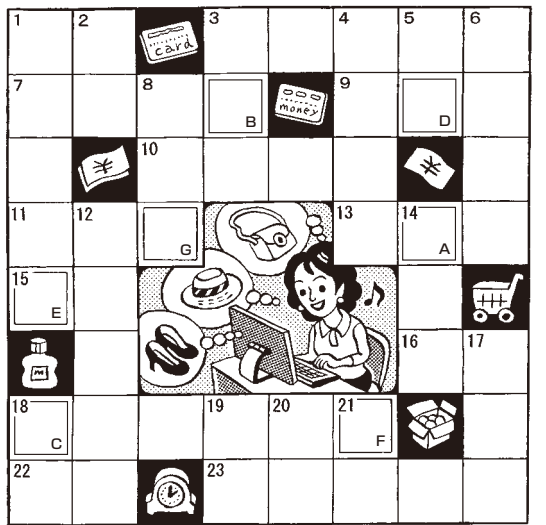
中原区 加藤賢司 (70)

して2つの銀行から振込んだ。はじめはJAに行き「身分を証明するものはありますか?」と聞かれ「ない」とこたえたが振り込むことができた。次は横浜銀行。住所・氏名・生年月日・干支・暗証番号など次々と聞かれてやっと振り込むことができた。通帳と印鑑だけではダメなのである。サギ防止は大切だがこれほどまでにする必要があるのであるだろうか?



第274回

《解き方》 イラストをヒントにして、二重ワクの7文字をうまく並べてできる言葉は?



メールでの送付先 s.shirovani@kawaikyo.or.jp

## 目玉のカギ

- ① ○○も方便
- ② お釈迦様の誕生を祝う仏教行事
- ③ 42・195キロの競技
- ④ 屋根のついた野球場。○○
- ⑤ 球場
- ⑥ 標高3776メートル
- ⑦ ひしゃく型をした○○
- ⑧ ○○七星
- ⑨ 9. 野球チームのメンバー。
- ⑩ ○○中、平○○、○
- ⑪ ○弁
- ⑫ 奈良公園の人気者
- ⑬ フレイル
- ⑭ 予防にも大切な栄養素は
- ⑮ 山口県の冬の味覚
- ⑯ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑰ 素性がよく分からない人。○○○○○
- ⑱ ○○とも分からない
- ⑲ 団子の仲を取り持つのは?
- ⑳ 始皇帝は○○の創始者
- ㉑ ○○影、○○見、○○夜
- ㉒ 芭蕉とともに「奥の細道」の旅をした門人
- ㉓ 裁判官の職名の一つ
- ㉔ リリーは寅さんの○○
- ㉕ 2人仲良く○○シヨット写真
- ㉖ 空港に直接向かう便利な○○○バス
- ㉗ 甘くて、冷たい○○
- ㉘ ○クリム
- ㉙ 料理。3分○○○○
- ㉚ カツオ一本釣り漁のえさ
- ㉛ 龍やかっぱは○○
- ㉜ ○の動物
- ㉝ 強くてヘコタレナイ。○○ガ
- ㉞ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉟ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊱ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊲ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊳ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊴ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊵ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊶ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊷ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊸ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊹ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊺ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名

## タテのカギ

- ① 素性がよく分からない人。○○○○○
- ② ○○とも分からない
- ③ 団子の仲を取り持つのは?
- ④ 始皇帝は○○の創始者
- ⑤ ○○影、○○見、○○夜
- ⑥ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑦ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑧ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑨ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑩ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑪ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑫ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑬ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑭ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑮ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑯ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑰ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑱ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑲ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ⑳ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉑ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉒ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉓ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉔ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉕ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉖ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉗ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉘ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉙ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉚ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉛ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉜ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉝ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉞ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㉟ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊱ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊲ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊳ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊴ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊵ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊶ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊷ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊸ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊹ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名
- ㊺ 富山県魚津市は「○○○○○の見える街」で有名

## 272回 解答と当選者

ス	ダ	コ	★	ツ	ウ	ヤ	ク
エ	ホ	ウ	マ	キ	ヒ	ヨ	★
ツ	シ	ヨ	★	ニ	セ	ン	★
ニ	セ	ン	★	カ	イ	ギ	★
カ	イ	ギ	★	ゼ	ロ	★	ク

答え「ホツキヨクセイ」

- 高間木順子 (川崎区)
- 村田学 (川崎区)
- 芹澤祐哉 (川崎区)
- 石川清治 (川崎区)
- 山口良春 (川崎区)
- 田中静代 (川崎区)
- 竹岡敏雄 (川崎区)
- 丸山とも子 (川崎区)
- 嵐田恭治 (川崎区)
- 鷲北栄治 (川崎区)
- 朝田由紀子 (幸区)
- 須山孝 (中原区)
- 岸本綾夫 (中原区)
- 太田美枝 (高津区)
- 大瀧一誠 (高津区)
- 星光悦 (宮前区)

## 応募要項

パズルの答と川柳は、ハガキで左記までお送り下さい。郵便番号、住所、氏名、電話番号とよろしければ年齢を記入して下さい。メールでの応募もお待ちしています。送付先のアドレスは解答枠の下をご覧ください。医療生協新聞への感想や近況

〒210-0804  
川崎区藤崎4-21-2  
川崎医療生協本部  
編集委員会

クロスワードパズルの余白に書かれた「内容」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

# 平和の広場

私の戦争体験 ⑤8

## 伝えたい思い

南河原支部 鎌田 米子 (87歳)

### その時、B29が!



#### 出征兵士を 盛大に

私が小学校4年生の時に、戦争が始まりました。当時、幸区幸町の女衾神社の隣に、母と祖母、叔父、叔母の5人で住んでいました。女衾神社には、連日のように出征兵士が来られ、勝ってくるぞと勇ましく誓って故郷を出たからと、



皆で歌をうたって、盛大に送り出したことが、強く記憶に残っています。叔父も特攻隊に志願し、大きな壮行会が開かれました。小学校では、女の子はなごなたを、男の子は木刀を習っていたり、雨の日は足駄(高下駄)を履いて登校したりしていたことが思い出されます。



戦争中の楽しみは少ないものでしたが、お友達の家遊びに行ったり、お芋で作ったお団子を食べさせてもらうのが、とっても楽しみ

戦争が激しくなると、成瀬村(現伊勢原市東北部)の女学校に入塾し、祖母と一緒に叔母の家で暮らすことになりました。毎日、一里(約4キロ)の山道を通学していましたが、ある時、空襲警報が鳴って、急遽、帰宅することになりました。山の上の学校から峠の坂道を下っていく

#### 米軍の兵士の顔が わかるほど

でした。また、今のソリッドスクエアにあった、明治製菓のキャラメルやゼリービーンズを、もらって食べるのも大好きでした。



と、突然、進行方向からB29が飛んで来ました。その時は、米軍兵士の顔が分かるほどの距離でした。とても怖くて、頭の上をグルグル旋回する飛行機がいなくなるまで、しばらくは穴の中に身を隠して、難を逃れました。

#### 内心ほっとした 終戦

近隣のお寺には、川崎や横浜から親元を離れ、疎開していた児童がたくさんいました。食べるものも少ない時代で、かわいそうでした。

戦争が終わる時、叔母の家に親族が集まって、玉音放送を聞きましたが、内心やっと終わったと、体の力が抜けるような感覚でした。今の総理大臣は、憲法を変えようとか、とっても危ない方がいいし、たたかいなんてしない方がいいと思います。



#### 「クジラのおなかからプラスチック」 プラスチックが海と生物を破壊する

近年、プラスチックによる海洋汚染と、魚など海洋生物に与える影響が問題視されています。美しい南の島のビーチにもプラスチックのゴミ・漂流物が流れ着き、生き物がこれを食べってしまうことで、その生存が脅かされています。「クジラのおなかからプラスチック」は、プラスチックがもたらす汚染の現状をはじめ、いかに自然に還らず残り続けるかという性質や、細かなマイクロプラスチックとなって拡散し生態系に影響を与えるかなど



(保坂直紀著 旬報社 1400円+税)

## 被爆65周年「3・1 ビキニデー」開催

アメリカがマーシャル諸島ビキニ環礁でおこなった水爆実験で、日本のマグロ漁船「第五福竜丸」などが被爆してから65年になる3月1日を前に、2月27日から3月1日の3日間、静岡県焼津市で「3・1ビキニデー」(被災65年2019年3・1ビキニデー静岡県実行委員会主催)が開催されました。



墓参行進に参加する川崎医療生協代表団

1日目は国際会議、2日目は全体集会和分科会、3日目は久保山愛吉氏の墓前へ墓参行進をして、最後に焼津市文化センターでビキニデー集会を開催し1500人が参加しました。

1954年3月1日、アメリカは広島原爆の1000倍もの威力を持つ水爆の

実験を行い、その結果、周辺が被ばく、乗組員のうち無線長だった久保山愛吉さんが半年後に亡くなりました。また、水揚げされたマグロからも放射線が検出され、多数のマグロが廃棄されました。

同年3月から5月の間に同海域では6回の水爆実験が行われ約1000隻にも

川崎医療生協では2020年に行われる核不拡散条約再検討会議までに2万筆を集めようと呼びかけています。署名のご協力をよろしくお願いいたします。

●問い合わせ ☎044-266-7532 組織部

今年で8回目  
原発ゼロへの  
カウントダウン  
in  
かわさき

会場のみんなで大合唱

「原発のない世界を実現しよう」と、毎年開かれている「原発ゼロへのカウントダウンかわさき」の第8回大会(実行委員会主催)が、3月10日に川崎市中原区の中平和公園で開催され、1300人が集まり、原発、脱原発を訴えま

した。集会は、歌や太鼓で幕を開け、川崎協同病院の職員で結成しているギターとボーカルのユニット「ハイタッチ」も出演し、会場を盛り上げました。ゲストスピーカーには福島原発かながわ訴訟団団長の村田弘さんや、茨城県東海村で村長を



原発ゼロのプラカードを持って

16年間つとめ、当初は原発容認だった立場から脱原発を訴える立場へと立場を変えた村上達也さんが「首都圏でこのような集会を開催することは私たちの励みになる」と話しました。集会後はデモ行進をして、川崎市民に集会の報告をしながら、原発のない世界を実現させようと訴えました。 組織部 城谷 創一